

知的生産の技術 021118

タイプ 1

容易に思い出せないような小さな出来事がきっかけで、その後の自分を左右するような出来事に巻き込まれることが多かった。

その時の感情なども思い浮かんできて懐かしい感じがしました。

タイプ 3

自分史のキーワードになる事項がだんだん見えてきました。今までの全てが今日の自分をついているのだなど改めて感じる。

野田先生に会えるとは、考えてもみませんでした。今日の私があるのは、野田先生の影響を大きく受けたからです。70代、日本のフラッグシップである我らが野田一夫。前向きな意見とイレギュラーな Japanese。私の学生証には、貴重にも野田一夫」という刻印。今日もなお私のスピリットの原動力として心の中に生き続けています。そして、決して、その存在が消えることはないでしょう。

タイプ 2

今興味のあるものの発展が高校時代読んだ本にあったことに気づいた。もう一度確かめたくなったら、もう一度原点に戻ってみたいと思う。

今日は先生の話聞いて疑問に思ったことがあります。知的生産技術で見出せるテーマもこれから年を重ねていくと変化するのですか？人生のテーマとはそんなにも不安定なものなのでしょうか？

仕事を深く掘っていくと人類や時代のテーマに行きつくというお話があった。これはどんな仕事でも自分なりによく考え、疑問や関心を持った自分の心の声に気づき、それを探究していく姿のことだろうと思う。そしてその探究は常に記録を残しながら行っていく。このような作業は胸のわくわくする仕事だと思った。

当時辛かったことが、今となっては楽しかった日々のように感じられるのは、自分が成長しているから、そう思えるようになったのではないか？

先生は大学時代、行動力が足りないと思って合宿に参加したと言われましたが、合宿がやりたいことだったのですか？
自分がやりたいことと、大学とか特殊の仕事についてとか無関係だと思えて、どちらにも身が入りません

先生がおっしゃる通り、小さな出来事を掘り下げてみると以外に自分が見えるかもしれないと感じた。全体を考えるとぼんやりしてしまうため、ポイントポイントで考えるという事もどんどん行っていきたいと思う。

まだ先生の半分も生きてないけど比べてみて全然自分の人生が空っぽだと感じた。これからもっと実のあることを考えたり、感じたりしたい。

もっと自分自身を見つめ直したい。良い機会なので。

タイプ 4

いつも良い刺激となっています。少しずつだけ、自分のことが分かってきたような気がします。

人生をもう一度見つめ直す、いい機会だと思います。

私は弟と全然仲良しじゃないので今度実家に帰った時はたくさん話そうと思った。

とても楽しく懐かしい気持ちになれた。

大きな挫折をしたことがない、生活で苦勞したことがない、でも、人生の苦しみを知らないまま社会に出るのは怖い。

この授業には友達が出ていないので、一人でじっくり考えることができ、かなり充実しています。

人生には必然な事はたくさんあるし、偶然的な事もたくさんあります。そうやって事の繰り返しがある人生だと思います。

今日の先生の話にはとても興味を持った。それはたぶん以前私もアナウンサーを目指していたからだろうと思う。今はいつも思い悩み、何も行動にできず、やる気がない。どうすればいいのでしょうか？これから何か見つけられるのでしょうか。

先生の出来事を聞いていて、自分から何をしたいのかが発見し、探っているのだと思い、力強い毎日を過ごしているのだと思った。私もいつも自分に疑問を持ち、新しい自分を掘っていきたい。

知的生産の技術 021118

先生の今までの話を聞くのが自分にとって一番楽しい講義の時間だ。先生の「自分にしか出来ないこと」の話を聞いて、また模索しながら答えのない自分の将来を考えていく気になった。自分は考えて悩むのが好きなのでこのように自分史という形で自分というものを明らかにしていくのが面白いです。

タイプ 5

自分史や、自分のことを考えていると、原因は中2の時の転校にあるような気がした。

私はまだ人生の海図を持っていない、不安定なので、はやくほしいが、ゆっくりじっくり探して生きたい。

自分の中にある劣等感、コンプレックス、プライドなど関係しているように思われました。

不足を補うために人は学び続けるのでしょうか。

生きてきて、出逢いと価値観に左右されてしまったような気がする。

家に生まれた日の新聞があったので、見てみようと思います。

今を生きる。反省をしたい。突き進む

先生の人生を聞いて、道草の大好きな小学生を想像した。何でも興味を持ち、熱中していくエネルギー。私にはできないので、うらやましい、あこがれる。私は何でも程々にしてしまうし、気力も続かないような気がします。人生一度でいいから何かに熱中してみたいと思った。

出会いは偶然と必然。ほとんどが偶然。でも後になってあの出会いは実は必然だったんだと気づくものだ。今日とても感銘を受けた言葉

豊かさカードに順番をつけることで、自分の中の価値観を整理し、考えることができてよかった。自分の中で精神的な豊かさが優先されるのは変わらなかったが、自己表現をするという意味でもコミュニケーションの豊かさも大事だと思った。

今の愛に生きる。

自分は今までなんと無感動な人生をおくってきたのだろうかど後悔している。

それだけ大学に入ってから受けた刺激が多かったのかな。

先週の出逢いと
同じくらい、
出来事も重要
だった。

タイプ 6

小さなテーマを見つけることから始めてみようと思う。

何でもどんどん書き出していってみると断片的に印象深いことを覚えていた。

タイプ 7

自分の過去がまた分かってきた気がする。

タイプ 8

楽あれば苦あり、苦あれば楽あり」の人生だなと思った。

私の価値観と他人の価値観が違うのはあたりまえだと思いました。ただ、他人の価値観を自分がどのように受け止め、取り入れていくかが大切だと思いました。

先生の人生の話をお聞きしました。話を聞く上ではあっという間でしたが、実に重みのあると感じました。私も自分にしか出来ない仕事をしたいと思います。もっと幅広く視野をとらえられる柔軟な考えを持っているように大学で学んでいきたいと思いました。

今日先生の話聞いて将来何になるか分からないなと思った。今は建築系の仕事に就きたいと考えているが、それ以外も視野に入れるゆとりを持ち、色々な経験をしたい。

大学受験で親友と支えあいながらゴールを目指したことが一番の思い出です。

「一つの専門」というものがないことに少しあせりを感じていました。欠点に対する自分なりの対抗法が、まさに自分の目標だったり、モットだったりしていることに気がついた。

猫の死はとても悲しかった。(今年の9月)。
忘れてるだけで、本当はたくさんの出来事があるのだと思う。

最初は全然、「自分史」がどんなものか見当がつかなかったが、これまでの作業で少しずつ形が見えてきた気がする。この授業を終える頃には「自分史」が1つの形となって出来上がるのだろうか。楽しみです。

知的生産の技術 021118

他人のやることはやらない、自分にしか出来ないことをやっていく」という言葉がとても印象に残りました。でも、その「自分にしか出来ないこと」が何なのか、それを見つけ出すことが難しいように思います。この講義の中の作業の中で、それを見つけることが出来ればいいと思いました。

「自分のやりたいことは何度でも変わる」「自分の小さなテーマに一生懸命になる」といった言葉に何か重荷がとれたような気がします。出来事を並べていくうちに、自分がどんな「種類」の出来事に強く引かれているかも見えてきました。

土・日の生活が影響してか講義に集中する事が出来なかった。今日やった資料作成はしっかり来週までやっておきたいと思う。今日先生の話聞いて、自分も似ていると思いました。(その時々によって目標(夢)があり、それに向かって一生懸命になるという点)。この講義によって、今の自分を掘り探って、もっと自分ということを見定めたいと思います。

宮城代に入れた事は、私にとって大きな出来事の一つ。皆個性があって、いい友達がいっぱいです。

今日の話聞いて、自分の興味というのは無限大で、それともなう職業や研究の選択肢は幅広くあるだと思いました。性格と職業ということについて興味があります。

今日は先生の昔の話を聞いて、大学に入ったからといってこれまでもう人生が決まってしまったわけじゃないんだなと思いました。年表を作ってみたら、自分が生まれた年(1982年)は暗いニュースが多くて、こんな中私は生まれてきたんだなと思いました。

今日は今までの授業の中で一番記憶がよみがえってきて、すらすらと書き止めることができた。

タイプ 9

考えてみると変わってる
ようで変わっていない
自分を再確認!

先生の人生が「支離滅裂」という言葉にちょっとビックリしました。研究テーマをみつけては掘り下げてという感じに、いつもしっかりとした目標を持って歩んでこられたと思っておりましたので。どんなものにあたるか分からないという言葉に少しホッとしました。自分がもっている小さな疑問や探求心を大切に、次へつながるステップにできたらと思います。

ずっと前から、自分は大きな人生でこれだ! と言えるテーマ、ヴィジョン、ベクトルといったモノを追い求めていました。が、なかなか見つけられませんでした。大きな軸となるベクトルと出会いたいです。今自分が求めているものは強烈なインパクトです。

社会情熱といった、直接自分が体験した出来事出ないものは、あまり思い出せず、うろ覚えだった。

いろいろな出来事を経て、自分はここまで成長したんだなと感じた。自分は看護の道を選んで後悔した事はないけれど、もしこの道に進んでいなければ、今いったいどうなっていたのか考えたらおもしろかった。

今日、改めて先生の講義は真剣に話を聞く人が多いことに気づきました。真剣に話を聞きにきている学生と、事前にきちんと準備をし、真剣に講義をしてくれる先生がいるから、この講義は良い講義なんだと思いました。この講義を他の先生方にも見せて上げたいです。互いの講義を見る機会を作ればこの学校の講義レベルもあがるのではないのでしょうか?

人生において偶然の出会い、出来事があるが偶然は偶然ではないかもしれないということが印象的だった。偶然の出会いを大切にすることで、また次の出会いも変わってくるのではないかと感じた。

「人生テーマの発掘」を書いていたら自分の生い立ち(家庭環境)が今の自分の選択してきた人生に、実は深く影響しているのではないかと思えて、不思議だった。今日は先生のこれまでのなりたかった職業の話が聞けて自分にとって非常に興味深かった。

人生の大きなテーマが見つからなくてなんとなく不安だったのですが、先生のお話を聞いて、今は今ちゃんと見つめていられる小さなテーマを迫及していけばいいんだと分かり、安心しました。仕事は簡単にやろうと思えば簡単にもなるけど、掘り下げていくと時代の問題にぶつかる、という話はすごく納得しました。仕事にやりがいを見出したければ、どこまでも掘り下げていけばいいんですね。

知的生産の技術 021118

構想だったら、先生のように方向転換ができたのになって思いました。先生はなぜ探検部を選んだんですか？私だったら安全な方を選んでしまう気がします。

両親は私の成長の記録を細かくとってくれているので、自分史が楽しみになってきた。それに、友達の昔を聞くのもまたおもしろい。

栄光の時代と暗闇の時代がありました。今はまだどうかは分かりませんが、何事かに打ち込んで、自分自身が輝けるようになりたいと思います。

中学校の出来事が全然覚えていなく驚いた。アルバムを見て思い出そうと思う

過去を思い出すっていうのは、楽しいことでもツライことでもすごく楽しい。友達と話しながらだったけど、すごく思い出すことがいっぱいでおもしろかった。

先生の今までの人生の話を聞いて、楽しかった。やっぱりいろいろな経験をする事が大事だと思う。

タイプ 9

今日は「将来なりたかったもの」の中にもあったものを目指して、頑張っている最中です。あまりいろいろな経験をしないで、ここまで来てしまったので、これでよかったですか。と思うことがときどきあります。しかし、中途半端は嫌なのでやりとおしてみたいと思います。

今は嫌と言うほど現実が目の前にあり、今まで考えもしなかったことや、関わったことのないことにも触れることになって、中身としては特にここ2,3年で成長したと思う。

実際に自分が思っていることを紙に書いていくといろいろなことがたくさん思い出されました。特に今、自分自身を見つめ直すとてもいい機会になっていると思います。

映像として記憶している部分が多くて、文章で表すのに苦労します。

自分が変われば、世界が変わって見えるという言葉聞いて、前向きになれそうだった。

昔の出来事を思い返してみるとその当時は分からなかったことが今になって理解できたりすることがあった。

私の転機は中学校だったと思う。体も、心も強くなった気がする。親のちょっとした何気ない一言が体を丈夫にさせ、(たくさん食べたから)運動部でメンタル的にも強くなれたのだと思う。

小さい頃の社会情勢が分からないので、家に帰ったら母に聞いてみたいです。そうすれば思い出せなかったことなどもいろいろとでてくると思う。

家の環境が今の自分に大きく影響していることに気がついた。自分には変化を求める気質があるように感じる。これは父の仕事の関係で転校を何回かしたせいかもしれない。

中学校のとこの出会いと出来事が大きな転機となっている。あまり早くに一つのことに絞り込むと、後の可能性や基礎を狭めてしまう可能性があるということだろうか。

その他

昔のニュースの表を見ていて、小さい頃でも、大きなニュースは覚えているものだった。

私は自分の人生にテーマがなく、これから先の自分がよく見えなくて少し不安がありました。しかし、先生の話聞いて、目の前にある小さなことから少しずつ努力することが大切で、そこから見つけられるものがあるということが分かったので、気が楽になりました。

学生運動が盛んだった頃のように少し前まで社会へと出て企業の中の歯車になるのは敗北だと自分も思っていました。果たして自分は何をしたいのか全く分からない状態になってしまいました。今回初めて授業に出ましたが、この授業の中から自分を見つけて何したいのか発見できるように取り組んでいきたいです。

私は今精一杯生きることが美しいと思って、いたし、「将来の夢」という質問は嫌いだった。しかし、私が入った看護学部は皆それぞれ自分の将来について考えている。この講義に入って、皆結構考えていることに気がついて、今とっても不安になった。